

MANY

No.437



令和2年6月11日(毎月第2・4週配信)MANY(Morality Active Network of Youth)

モラロジー青年活動ネットワーク メールマガジン

「伝統の日」を迎えました ～動画配信の案内～

廣池理事長メッセージ

伝統の日を迎えるにあたって、モラロジーネットでは、「この一年のトピックス」と「廣池理事長メッセージ」を配信しています。これまでは、全国のモラロジアンの皆様と柏の地で、一緒に見て聞いていました「1年のトピックス」と「廣池理事長挨拶」でしたが、今年はオンラインという形で視聴できるようになりました。

2020.06.08 Category 655



残念でありながらも、視点を変えて、ここはこれまで以上の方に見て聞いていただける機会にもなったと考え、ぜひ多くの方に、「モラロジーネット」を活用し、この動画をご視聴いただきたいと思っております。

この1年のトピックスでは、モラロジー研究所、廣池学園両法人の行事紹介に加え、全国各地の活動の様子がわかりやすく映像で振り返ることができます。青年の皆様には、記憶に新しい徳島で開催された全国青年大会も紹介されています。



そして、廣池理事長メッセージは、「新型コロナウイルス事態から、国難を乗り越え盤石な国家に」とはじまり、「明治神宮御鎮座100年」を迎えた明治新宮をご自身で撮影された写真で紹介。さらに「私たちの国家伝統」、「モラロジー研究所 創立100年に向けて」の将来展望を語り、「廣池学園 麗澤各校の動き」の紹介がありました。最後は「困難な時代に廣池博士が示した指針」からモロロジアンとしての心の置き所、ともに進んでいきたい道を示され、お話を終えました。

モラロジーネット活用を



廣池理事長メッセージの中で、生涯学習センターで配信している生涯学習センターオンラインの紹介がありました。まだ、ご視聴いただけていない方は、ぜひご覧ください。



<http://morology.net/>にアクセスし、維持員番号とパスワードを入力するだけで入ることが出来ます。「伝統の日」の動画に加え、生涯学習センターオンライン(まもなく1000回再生!)、学習資料などご活用いただけます。

中央芝生に鯉のぼりが揚がり キャンパスプラザのラベンダーが咲きました!

園内ではいろんな場所で沢山の花々が咲いています。また、麗澤幼稚園でも入園式の後、中央芝生で鯉のぼりが今年も揚がりました。

6月3日に行われた麗澤幼稚園の入園式が無事終了。廣池理事長と一緒に鯉のぼりを揚げ、入園児達は大盛り上がりでした。その後、理事長からのお話しをお行儀よく聴いていました。園児は、コロナウイルスの影響で時期的には遅くなりましたが、こうして今年も鯉のぼりが揚がり、子供達の健やかな成長を願いました。



緊急事態宣言が解除され、少しずつですが日常が戻りつつあります。キャンパスプラザではラベンダーが綺麗に咲きました！！

モンシロチョウやオオスカシバ、蜂が蜜を求めて元気に飛び回っていました。

現在、キャンパスプラザの BBQ は営業中止しておりますが6月13日から営業再開しますので是非、ご利用ください。

道経一体ビジネス支援サイト ～商品が購入できます～

全国各地のモラロジアン企業、日本道経会会員企業の専用サイト「道経一体ビジネス支援サイト」から、各企業の商品を購入することができます。

紀州かつお梅



紀州産青高梅に漬かした新鮮かつお梅をブレンド。白くにんにくに良く合う梅干です。塩分は約8%です。

カテゴリ	食品
URL	http://www.kobu-japan.co.jp/products/umeboshi/
価格	¥569～
販売者	株式会社和梅園
販売対象	一般消費者（個人用） 企業（業務用）
販売形式	店舗販売 ネット通販 FAX通販 電話受付

今回は、暑くなってきた今、食べたいもの！ということで、三国一のうどんと紅梅園の紀州かつお梅を紹介します！！

生うどん 3人前（つゆ付）

自家製手打ち麺と関西風のつゆのセット	
カテゴリ	食品
価格	¥880
販売者	株式会社三国一
販売対象	一般消費者（個人用）
販売形式	店舗販売 FAX通販 電話受付

三国一は、自家製手打ち麺です。これをつくったざるうどんに、紀州かつお梅をあわせて、暑さで疲れた体をすっきりさせてみるというのはいかがでしょうか。

他にも様々なジャンルをそろえていますので、ぜひ支援サイトを覗いてみてください。買うならぜひここで！

道経一体ビジネス支援 <http://www.dohkeibiz.jp>

モラロジーネット <http://www.moralogy.net>

「志」いだいて、「勇気」出して、「きっかけ」作って、行動しよう！

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本国内ではある程度抑えられていますが、世界ではまだまだ厳しい状況です。普段と違う生活状況になっている人も多い今、個人と社会とのかかわり合いや、その中で自分にできることについて考えてみましょう。

「自分のこと」として考える

“外出自粛”要請のとらえ方については、『ニューモラル』6月号に、“「自分のこと」として考える”というテーマで取りあげられています。外出自粛の要請があった際に、「自分も気をつけなければ」と思って外出を取りやめるか、「自分には関係ない」と他人事として外出するのか、そこには、自分と社会との関係のとらえ方が、個人個人で違うように思います。



外出を自粛する理由は、当初は「うつると怖い」「うつりたくない」という自分中心の考えでしたが、徐々に、「うつしたくない」「皆に迷惑をかけたくない」「医療従事者に負担をかけたくない」という他者を思いやった意見が聞かれるようになってきたように思います。

自分にできることをやり続ける

しかし、このような緊急事態でなく、つね日頃からでも、他人や周囲のことを考えて行動している人は大勢いらっしゃいます。

その一人が、同じ『ニューモラル』6月号で、清掃活動を長年続けられた鍵山秀三郎さん(株)イエローハット創業者)を紹介しています。鍵山さんは、二十代に会社を独立しましたが、社員たちの荒んだ心を穏やかにできないかと考え抜いた末に、「自分にできる唯一のこと」として、掃除に取り組むようになりました。「ゴミが落ちている」「ゴミを拾う」ということを他人事ではなく、自分事としてとらえてきたのです。しかし、一緒に掃除に取り組む社員が出てきたのは、十年を過ぎたところで、ほとんどの社員に広まったのには、二十年もかかったそうです。「誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底して続けてきたこと(凡事徹底(ぼんじてってい))」に感動します。

最初は、人から馬鹿にされ、「あなたのやっていることは、価値のないものですし、会社のためにならない、取るに足らないことですよ」と言われたそうですが、やり続けました。もう五十年以上も続けておられ、その活動は世界に広がっています。

私も何度か、「掃除に学ぶ会」の活動に参加しましたが、参加者全員が真剣に取り組む姿勢に感動しました。また、鍵山さんとは、中学校のトイレの清掃を一緒にさせていただきましたが、その謙虚なお人柄に敬服いたしました。（*1 参照）

道徳の実行には勇気が必要

モラロジーの格言に、「率先善を認め勇を鼓してこれを貫く*2)」があります。

この文章の一部を引用します。「この格言は、道徳の実行には勇気が必要であることを示しています。一般に道徳といえば、自分一人だけが行なっては損だとか、他人のことを考えては生存競争に負けてしまうとか、今は忙しいから暇ができてから学ぼうなどと考え、敬遠しがちです。まして、他人の長所を認めるとか、他人の善行を見いだすとか、率先して道徳を行なおうとする人は少ないのです。しかし、どのような状況にあっても、道徳の価値を認め、自主的に道徳を実行する人もいます。そのような人こそ真に勇気のある人といえましょう。」

“きっかけ”を大切に(私の経験から)

良いことをやろうと思うときに、勇気が必要であるということはわかって、残念なことに、私には大きな勇気がありません。そのような私でも、ちょっとした勇気ときっかけがあったので、出来たことがあります。

最後に、私の体験を紹介します。もう30年前のことになります。私は、以前より国際交流(外国や外国人との交流事業)に関心がありました。柏に住むようになって、自分の経験を生かして、国際交流の分野で、地元柏市に貢献できることはないだろうかと、ずーと思っていました。

凛とした日本人
の生き方

Keynote Presentation
鍵山秀三郎



「凡事」に徹せ

補給 50年。
平凡なことを非凡に実践し、
会社を、業界を変革させてきた
経営者が後世に伝える
「心づくり」「企業づくり」
「国づくり」への思い

「志」を貫け。

ある日、私は電車のホームで、電車が来るのを待っていました。その時、ホームにアフリカ系と思われる女性が立っていました。そこで、ちょっと勇気を出して話しかけました。「どちらに行かれますか？ どちらから(国)来ましたか？」と聞くと、「私はガーナ人です」と答えてくれました。私はガーナに行ったことがあったので、電車が来るまでの短い時間でしたが色々楽しい会話できました。この時、改めて、国際交流の活動をやりたいと思いました。このことが“きっかけ”になったのです。



その後、柏市役所に行くと、市役所内には国際交流室という部署があり、姉妹都市交流や在留外国人と柏市民との交流事業をしていることがわかりました。それから、積極的にそれらの活動に参画するようになり、もう30年になりました。今では国際交流協会という立派な NPO 法人になり、私は有意義なボランティア活動を継続しています。

「こうしたい、こうありたい」という気持ち(志)が大事

何か行動をおこし継続するには、勇気が必要です。しかし、鍵山さんのような大きな勇気がなかったとしても、きっかけさえあれば行動に結びつくこともあります。

まず、「こうしたい、こうありたい」という心に決めた目標が必要ではないでしょうか。その(正しい)志をいだいて、勇気を出して、きっかけがあれば、きっと行動につながるでしょう。

(生涯学習センター 副センター長 土谷和光)

参考資料

- *1. 『凜とした日本人の生き方』
- *2. 『最高道徳の格言』(共にモラロジー研究所発行)

【お知らせ】

次号は、令和2年6月25日です

基本的に毎月第2、4週配信！

活動情報、ご意見、ご感想など声をお聞かせください。

MANY 事務局へ

[発行・編集]

公益財団法人モラロジー研究所 青年育成課

(<https://www.facebook.com/morology.many>)

住所: 〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

[TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312) FAX:04-7173-3259

※掲載記事の無断での転載、再配布はお断りいたします。事務局までご一報ください。